

## 第6学年 図画工作科・総合的な学習の時間

屋久島町立神山小学校 濱崎 昇平

### 1 題材名 「つくろう！ぼくたち・わたしたちの未来の屋久島」

#### 2 (1) 単元の目標（総合的な学習の時間）

- 屋久島をよりよくするために、環境や文化、産業等の観点から様々なひと・もの・ことが関わっていることを理解したり、社会の中の自分の役割や多様な考えを踏まえながら未来の屋久島像を考えることの大切さを理解したりすることができる。（知識及び技能）
- 環境や文化、産業等の観点から屋久島の魅力や課題を幅広い視点で捉え、解決するための方策を多面的に考えたり、必要な情報を整理・分析したりしてまとめたりすることができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 他者と協働して探究活動に取り組みながら、将来の屋久島像や自分の理想の姿を進んで思い描き、それに向けて行動しようとするすることができる。（主体的に学習に取り組む態度）

#### (2) 題材の目標（図画工作）

- 形や色、材料の組合せといった視点を生かすとイメージを具体化できることを理解することができる。様々な材料をイメージに合わせて組み合わせることができる。（知識及び技能）
- 屋久島の未来像を環境や文化、産業等の観点からイメージし、形や色、材料の組合せといった造形的な視点を基に自分の思いを表現に生かすことができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 屋久島の未来像を表現する活動に興味をもち、粘り強く表現しようとするすることができる。（主体的に学習に取り組む態度）

### 3 題材について

#### (1) 教材観（図画工作）

本題材は、屋久島の未来像を様々な材料を用いたジオラマで表現する題材である。

総合的な学習の時間に、屋久島の人材や素材を活用して、屋久島の魅力や課題を調べたり、解決策を考えたりする活動を行う。その活動と図画工作の題材「ドリームプロジェクト」を関連させることで、図画工作の時間において、自分なりの未来の屋久島像を想像し、屋久島像を表現する意欲を高めることができる。また、屋久島ジオラマを表現する際に、環境や文化、産業等の観点から屋久島のひと・もの・ことを関連させながらアイデアを練り上げることで、多面的に未来の屋久島像をイメージすることができる。さらには、表現した屋久島ジオラマを屋久島内外の人が鑑賞することで、達成感を感じるとともに、感想を踏まえて自分の考えをさらに深めることができる。

ジオラマの魅力は、表現者の思いが小さい世界に細部まで込められており、鑑賞者もその世界観を感じながら楽しむことができるところだと考える。総合的な学習の時間との関連で未来の屋久島像をジオラマに表現することが、両教科に関する資質・能力を効果的に育成することにつながる と考える。

## (2) 児童観

本学級の児童は、これまでの総合的な学習の時間において、屋久島の環境や文化、産業等の分野においてインタビューや直接体験等を通して魅力や課題を見いだしてきている。また、意見交換しながら活動することを好み、複数人でアイデアを出し合いながら表現する活動に意欲的に取り組むことができる。さらに、これまで様々な造形活動を経験してきており、様々な材料を用いながら細部まで表現することに意欲的である。ただ、多面的な視点で物事を捉えることに課題があるため、未来の屋久島像を描く際や表現する際に、屋久島の環境や文化、産業等の分野を熟知している方や島内外の方からの意見を得る場の設定が必要である。

## (3) 指導観

本題材の指導にあたっては、まず、総合的な学習の時間に、屋久島の魅力について調べる活動を設定する。その際、屋久島の環境や文化、産業などの専門的な知識をもっている方をゲストティーチャーとしてお招きし、話を聞く活動を設定する。このことを通して、ゲストティーチャーの取組や思い、屋久島の魅力、課題について考えさせ、課題意識をもたせたい。そして、屋久島の課題を基に、自分なりの解決策と未来の屋久島像を考えさせる。

次に、図画工作の時間に、イメージした未来の屋久島像をジオラマに表現することを、参考作品を鑑賞させながら提案し、活動への意欲をもたせる。また、未来の屋久島像を多面的にイメージできるように、グループでアイデアを練り合う場を設定したり、地域の方と意見交換したりする場を設定する。そして、自分のイメージに関するよさや改善すべき点も含め、アイデアを練り直させる。特に改善点をどのように改善すべきかを「多様性」「相互性」「公平性」等を視点に考えさせる。さらに、イメージした屋久島像を表現する際に、多様な表現を促すために、材料コーナーを設置し、イメージに応じた表現ができるようにする。材料については環境面を考慮し、廃材などを効果的に活用するよう促す。

そして、完成した屋久島ジオラマを役場等の多くの目に触れる場所に意見箱とともに設置し、地元の方や観光客に鑑賞してもらい、意見をいただく場を設定する。そこでいただいた意見を踏まえて、達成感を感じたり、新たな課題提起を得たりする機会としたい。

## (4) ESDとの関連

### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性・・・未来の屋久島像に向けたイメージ、形や色などによる表現は多様にある。屋久島像に対する考えは多様であり、自分の考えとは違う考えも多くあるが違う視点から考えると新しい発想につながりそうであるということ。

相互性・・・屋久島への思いやイメージを一人一人もっていて、その思いを実現するために様々な業種の方や様々な立場の方が関わっているということ。また、描いた屋久島像を発信することで、屋久島をよりよくすることにつながりそうだということ。

公平性・・・屋久島をよりよくするのは大人だけでなく、自分たちも屋久島の未来のために考えて行動する必要がある。世代内 (同じ時代を生きる様々な立場の人) と世代間 (過去・現在・未来) の視点で考える必要があるということ。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

批判的に考える力

イメージした屋久島像を実現することに対するメリットだけでなくデメリットも踏まえて検討する。

未来像を予想して計画を立てる力

未来の屋久島像をジオラマで表すことに向けて、イメージを膨らませたり材料の組合せを考えたりしながら構想案を練る。

多面的・総合的に考える力

未来の屋久島を創造するにあたって、環境や文化、産業等の様々な分野や様々な立場から未来像を考える。他者のアイデアやアドバイスをもとに自分のイメージをより深める。

つながりを尊重する態度

屋久島の環境や文化、産業等に関するひと・もの・ことがつながっていることを理解し、尊重しようとする。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代内の公正

未来の屋久島像を実現するにあたって、様々な立場や考えがあり、よりよい未来の屋久島像に向けて、それらを踏まえて多面的に追究することが大切である。

世代間の公正

過去・現在・未来の視点を踏まえて屋久島像を多面的に追究することが大切である。

・達成が期待される SDG s

1 1 住み続けられるまちづくりを

4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 環境や文化、産業等の観点から様々なひと・もの・ことが関わっていることを理解している。</p> <p>② 社会の中の自分の役割や多様な考えを踏まえながら未来の屋久島像を考えることの大切さを理解している。</p> <p>③ 形や色、材料の組合せといった視点を生かすとイメージを具体化できることを理解している。</p>	<p>① 環境や文化、産業等の観点から屋久島の魅力や課題を幅広い視点で捉え、解決するための方策を多面的に考えている。</p> <p>② 屋久島の未来像を環境や文化、産業等の観点からイメージし、形や色、材料の組合せといった造形的な視点を基に自分の思いを表現に生かしている。</p>	<p>① 他者と協働して探究活動に取り組みながら、将来の屋久島像や自分の理想の姿を進んで思い描き、それに向けて行動しようとしている。</p> <p>② 屋久島の未来像を表現する活動に興味をもち、粘り強く表現しようとしている。</p>

## 5 単元の指導計画

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 屋久島のことについて調べ、屋久島の魅力や課題について考える。(総合的な学習の時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋久島には魅力的な自然や文化などがあり、さらに改善したいところもある。</li> </ul>	<p>○屋久島の魅力や課題について多面的に捉えさせるために、ゲストティーチャーからの話を聞く場を設定し、自分なりの屋久島像を考える機会とする。</p>	<p>イ① (思判表)</p>
<p>2 未来の屋久島像をジオラマに表すことについて、表現の見通しをもつ。(図画工作)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジオラマを作って街づくりの提案をしていると先生から聞いたな。やってみたい。</li> <li>修学旅行で行った鹿児島市には屋久島にない色々なお店があったな。お店を作りたい。</li> <li>神山校区には千尋の滝という雄大な滝があるな。もっと知ってほしいからアピールできるのをつくりたいな。</li> </ul>	<p>○ 活動の見通しをもたせるために、参考作品を鑑賞させ意見交換を行う。</p> <p>○ 活動を焦点化するために、総合的な学習の時間での活動を想起させ、ジオラマ作成への意欲をもたせる。</p> <p>○ イメージを具体化するために、グループで話し合い、表現の見通しをもたせる。</p>	<p>イ② (思判表)</p>
<p>3 未来の屋久島像をジオラマに表す。(図画工作)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校区にショッピングモールがあって、屋久島のみんなが喜ぶ様子を作ろう。</li> <li>千尋の滝の近くに吊り橋を作りたい。</li> </ul> <p>4 中間ジオラマサミットを行い、途中段階の作品をもとに中間鑑賞会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ショッピングモールだと渋滞や、地元の物が売れなくなるなどの影響があると地域の人から聞いたよ。コンビニにして、地元の特産品コーナーを作ろうかな。</li> <li>吊り橋は修繕が必要と聞いたな。吊り橋の入り口にも料金所を設置しよう。そのお金は吊り橋の修繕費にするんだ。</li> </ul> <p>5 完成した作品の鑑賞会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の作品のアイデアはいいな。私の作品のよさもたくさん見つけてもらえて嬉しい。</li> </ul>	<p>○ 多様な表現を促すために、廃材を中心とした材料コーナーを設置する。また、イメージに応じて工夫している表現を適宜全体に紹介する。</p> <p>○ 多面的な視点の思考を促すために、中間ジオラマサミットを開催し、表現のよさだけでなく、さらなる改善点を話し合う場を設定する。その際、地域の方にも参加していただき、屋久島や校区の魅力や課題、人としての生き方、生物、環境などの様々な視点から改善点に関する意見をいただく。</p> <p>○ 表現の達成感を感じさせるために、互いの表現のよさを伝え合う場を設定する。GTにSDGsの視点から価値付けをしていただく。</p>	<p>ア①③ (知・技) イ② (思判表) ウ①② (主体的)</p>
<p>6 屋久島ジオラマを役場等に設置し、いろいろな方に鑑賞後の意見をもらい、考えを深める。(総合的な学習の時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニのアイデアには賛成の人もいれば反対の人もいるみたい。屋久島に合ったお店とは何だろう。</li> <li>修繕費用のことなどで未来のこともしっかり考えることは大事だな。</li> </ul>	<p>○ 児童が描く屋久島像を発信するために、役場等に設置し、感想ボックスに屋久島内外の方々からの意見をいただく場を設定する。</p> <p>○ 考えをより深めさせるために、いただいた意見を基に、屋久島像を練り直し、今後の考えや行動に生かすように促す。</p>	<p>ア② (知・技)</p>

